

親友の内海に裏垢女子やってるのバレて×××されたに関するアンケート調査結果

アンケート調査概要

項目	詳細
調査目的	親友の内海に裏垢女子やってるのバレて×××されたに関する感想レビューアンケート調査
調査対象	本作を読んだことのある20代～40代の男女19名
調査期間	2025年8月～2025年12月
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドソーシング
データ使用サイト	https://fkikaku.co.jp/book/sinyu-utsumi/

Q: 本作の面白いところやいいところなどの感想を教えてください。

回答一覧

No.	年齢性別	感想内容
1	30代女性	誰が見ているかわからないSNSの怖さと、親友に裏垢がバレる衝撃の導入が面白い。内海くんの言葉責めやテクニックが凄まじく、キスマークをたくさんつける独占欲の描写に萌えました。
2	20代女性	陰キャで経験不足な男女(美男美女)が、裏垢をきっかけに結ばれる「陰キャの夢」が詰まった設定。内海くんの顔、身体、エロさのギャップが完璧で、幸せな家族計画まで想像できる素敵な二人でした。
3	30代女性	ストーリーが面白く、ページ数が多いのでエロ要素が満載です。人体の描き方(筋肉美など)が非常に綺麗で、内海くんの執拗な「わからせ」が最高。両思いなので清々しい気持ちで楽しめます。

4	20代女性	イケメンに溺愛されたい願望が叶う、大満足の作品。親友としての嫉妬から、どれだけ好きだったかを思い知らされる展開がたまらない。ラブラブな後日談も見てみたくなる溺愛っぷりでした。
5	30代女性	滲み出る「あまあま感」と長いエッチの描写を求めている人に最適。少しギャルっぽい雰囲気ヒロインも可愛く、くっついた後のデートの様子まで気になるほどキャラクターが魅力的です。
6	40代女性	「承認欲求のために配信しているが実は処女」という設定がピュアで良い。陰キャなイケメン親友に全てを暴かれ、ぐちゃぐちゃにされながら重い愛情をぶつけられる展開が最高でした。
7	30代男性	「こんな近距離で今まで付き合っていなかったの？」と驚くほど距離が近い二人の関係性がエロい。裏垢が見つかるまで手を出さずにいた内海くんの自制心に、逆に彼の想いの深さを感じました。
8	40代女性	イケメンの執着エロが好きな人には絶対おすすめ。ナイーブそうな見た目から執着心がむき出しになっていく内海くんの様子が最高です。ヒロインのフワフワした身体の質感も可愛かったです。
9	30代女性	過去一大好きな作品。男の子の溺愛度がたまらなく、「リアルにありそうでない」絶妙な距離感の関係性に憧れます。続編を熱望するほど、内海くんのキャラクターが刺さりました。
10	20代女性	大人作品で初めて「胸がキュンとする恋の感覚」を味わいました。表情や身体が綺麗で、内海くんの独占欲全開な言葉責めがたまりません。最高のハッピーエンドでした。
11	40代女性	友達から恋人へ、という関係性が好きな人向け。「マッサージさせる＝襲ってくれと言わんばかり」な無自覚な誘いからの、彼のネチっこい攻めが最高。一冊で完結する満足度の高い物語です。
12	30代男性	102ページという大ボリュームに惹かれて購入しましたが、期待以上でした。前半で既に濃厚な内外同時攻めがあり、後半もわからせエッチが続く。ねちっこい攻めが好きな人は必読です。
13	40代女性	表紙のビジュアルが良すぎて即決。嫉妬と独占欲から致してしまうシチュエーションがたまりません。 100 ページ超えでストーリーもしっかりしており、キャラの身体の描写も最高にエッチでした。
14	30代女性	甘いいちゃいちゃから、ガツガツしたエロへの流れが完璧。執着されたい人にとっては扉を開くような一冊です。潤いを与えてくれる、非常にストーリー性のある良質なエロでした。

15	20代女性	地味オタ女子が裏垢では別人、というギャップが強烈。「ただのゲーム仲間」が裏垢を見つけて感情を爆発させる王道展開に燃えました。予約投稿が発動するタイミングの悪さもハラハラして巧いです。
16	30代女性	拗らせた両片思いからの「わからせ溺愛」。ポルチオ責めや種付けプレスなど、熱量の高いエロが満載。予約配信を止められずにキレた彼からの激しいピストンなど、絶倫執着攻めが美味しすぎます。
17	40代女性	両思いのハッピーエンドですが、内海くんの仄暗い独占欲や表情が気になる深みのある作品。エッチシーンの満足度も高く、彼がどれだけ彼女を離したくないかが伝わってきて興奮しました。
18	30代女性	ネットの世界に逃げていたヒロインが、現実を突きつけられてメロメロになっていく姿が可愛い。濃厚ですが無理やり感があまりなく、安心して溺愛と執着を楽しめる実用性の高い一冊です。
19	40代男性	親友という関係が壊れる瞬間の緊張感と、その後の圧倒的なボリュームで描かれる行為の密度が素晴らしく、最後まで一気に読ませる力がありました。